

## 地域の概要



南大隅町は平成18年3月に旧根占町と旧佐多町が合併し、本土最南端に位置している。合併当初は1万2,000人ほどいた人口も現在は5,600人あまりで高齢化率は52.3%と県下1位（令和7年12月現在）。佐多地区の一部においては本町市街地まで車で約1時間。主な移動手段は自家用車であるが、町が運営するコミュニティバス、乗合タクシーの運行、民間業者による福祉タクシーが運行されている。

## 取組のきっかけ

当時、町の高齢化率が42.9%とすでに県下1位であり全世帯の4世帯に1世帯が独居高齢者というなかで、生活でできていたことが年々、負担や不安になってきたと困りごとを抱える高齢者の声があり、公的サービスだけでない“住民のちからでも支える”仕組みを構築し、持続的な運用を図る。

## 取組の目的

- 住民主体による生活支援・福祉サービス
- 75歳以上の高齢者世帯・障がい者世帯への生活支援
- 生活支援員（有償ボランティア）の生きがい・介護予防・つながりづくり
- 課題解決に必要な団体と連携する

## これまでの経緯

年・月	出来事
平成24年2月	根占地区のモデル地区を対象に高齢者・障がい者世帯で生活ニーズ調査を実施
平成24年7月	生活支援員（有償ボランティア）の養成
平成24年9月	「暮らし安心・地域支え合い活動」の名称でサービス開始
平成25年3月	チラシの作成・町内全戸へ配布
平成25年7月	鹿児島県始良市、熊本県合志市・菊陽町へ先進地視察
平成29年4月	「あったか・すみっこサービス」へ名称変更
令和8年1月現在	ゴミ出し支援、屋内外の清掃活動中

## 活動の概要

- 対象者 : 75歳以上の高齢者世帯や障がい等で日常生活に困っている世帯
- 活動内容 : 家事支援（ゴミ出し、屋内清掃、衣類の整理）  
屋外支援（庭の草払い、掃除、片付け）  
買い物代行、食事支援、障子張り等
- 活動範囲 : 町内全域
- 利用料 : 500円/1時間 ゴミ出し200円/1回
- 構成員 : 生活支援員登録者33名（令和7年4月現在）
- 利用状況 : 46件（令和6年度実績件数）



## 取組における行政担当者・生活支援コーディネーターとしての役割

〔行政担当者としての役割〕〔SCとしての役割〕

- SCとの定期的な情報共有
- 活動に関する相談
- 生活支援員の新規養成
- フォローアップ研修会の開催（3回/年）



## 現時点での到達点（効果・課題など）

〔効果〕

介護認定や障がい認定にかかわらず、支援を必要とする方へ柔軟に活動の対応ができる。活動後には自然とお互いに会話が始まり、利用者の安心感や協力者の生きがいや介護予防にもなっている。

〔課題〕

継続したサービスの広報周知や新たな生活支援員の確保と支援員不在の地域の担い手の掘り起こし。